【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【公開番号】特開2013-154064(P2013-154064A)
【公開日】平成25年8月15日(2013.8.15)
【年通号数】公開・登録公報2013-043
【出願番号】特願2012-18629(P2012-18629)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　2/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　2/16

【手続補正書】
【提出日】平成27年1月23日(2015.1.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
樹脂成型品からなる挿入部を有する眼内レンズ挿入器具の処理方法において、
前記挿入部に添加されている所定の添加物を加温処理により析出させる第１工程と、
該第１工程にて前記挿入部の内壁に析出された前記添加物を除去する第２工程と、
を含むことを特徴とする眼内レンズ挿入器具の処理方法。
【請求項２】
請求項１に記載の眼内レンズ挿入器具の処理方法において、
前記第１工程の加温処理の温度は室温より高く、前記添加物の融点よりも低い温度であることを特徴とする眼内レンズ挿入器具の処理方法。
【請求項３】
請求項１または２に記載の眼内レンズ挿入器具の処理方法において、
前記加温処理の温度は５０℃以上６５℃以下であることを特徴とする眼内レンズ挿入器具の処理方法。
【請求項４】
請求項１～３のいずれか１項に記載の眼内レンズ挿入器具の処理方法において、
前記第１工程の加温処理は前記挿入部の表面に析出される前記添加物の析出量が飽和する期間行われることを特徴とする眼内レンズ挿入器具の処理方法。
【請求項５】
請求項１～４のいずれか１項に記載の眼内レンズ挿入器具の処理方法において、
前記第１工程の加温処理の期間は１０日以上１ヶ月以下であることを特徴とする眼内レンズ挿入器具の処理方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
（１）　樹脂成型品からなる挿入部を有する眼内レンズ挿入器具の処理方法において、前記挿入部に添加されている所定の添加物を加温処理により析出させる第１工程と、該第

１工程にて前記挿入部の内壁に析出された前記添加物を除去する第２工程と、を含むことを特徴とする。